

## かみくげ 恐竜の里新聞

平成23年1月25日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第30号

上久下  
地域づくり  
センター  
0795 78 0001

## 正月雑感

上久下自治協議会会長 柳川瀬義輝

早いもので、はや1月も過ぎようとしています。今年の干支は「卯」で、兔のようにぴよぴよはねるといふことで「飛躍の年」と言われています。どんどん前へ進むことも大切ですが「兎と亀の物語」で亀のように地にしっかりと足をつけ一歩一歩進むことも大切なことではないでしょうか。

上久下地域自治協議会は合併後に来た新しい組織です。地方の自治は「自治会長会」が、文化やスポーツは「ふるさと振興会」が、地域づくりは「恐竜の里づくり協議会」が中心になってそれぞれの役割分担を果たし、3つの部門が協力しながらよりよい地域を目指して事業を進めています。今年は、みんなで汗を出しながら、みんなで知恵を出しながら、若い人もお年よりも子どもたちも含めて、より多様な人々が関わる地域づくりを目指していきたいと考えています。上久下地域がますます輝き、すばらしい地域を内外に発信していくため、みなさんと一緒に頑張って頑張りたいと思います。

新春賀詞交歓会  
開かれる

平成23年新春賀詞交歓会が1月9日、地域づくりセンターに地域役員、団体・グループ代表、市議会議員ら40数名が参加して行われました。自治協議会長、柳川瀬義輝さん、の挨拶に始まり、祥葉会の「新年の舞」の披露、コーラスグループさくらんぼのみなさんによるお正月の詩や丹波竜物語、ちーたんの詩などの披露がありました。

懇親会には人と自然の博物館より三枝春生研究員が5次発掘調査の最中に現場から駆けつけて下さり、発掘の中間報告や今後の見通しなどのお話に参加者は熱心に耳を傾けていました。

## 私の上久下生活

ターニングターニング編 ⑦

松原 薫さん  
裕美さんご夫妻  
(青田)

松原薫さん(61歳)と裕美さん(51歳)ご夫妻は2004年に宝塚市から青田に移り住まわれました。

ご夫妻には26歳になる長女(現在中学校の教師)と大学1年の次女、高校生の長男がおられます。薫さんは公立学校の理科の教師を55歳で退職され、念願だった自給自足を目指した田舎生活を青田ですることになりました。

理科の教師として教鞭をとるなかで、生きる力を身に付ける必要性を痛感し、

自分自身が自給自足の田舎生活を体験したい意気込みで不動産業者を通じて田舎の住まいを探したそうです。岡山、奈良、滋賀、京都、そして近くの福知山、篠山と紹介してもらった最後に青田の60坪の畑付きの空き家だった物件にたどりつきました。駅に近く、都会に出るのにも便利。

近所の住人の好意で更に100坪の畑を借り受けて、考えられるあらゆる農作物を完全無農薬栽培しています。近所の人は「まるで実験農場のようですね」と話されています。

お米も赤米から黒米、ピーナッツ、桜島大根、黒豆、じゃがいもなど穀物、野菜を出来るだけ機械や薬品に頼らない方法での自給自足農法を考えているが、自給率は今のところ40%ほどかなと笑っておられます。その他にも綿、カイコ、炭焼、家にはいろりを作って客を迎えたり、冬は薪ストーブで暖をとったり、生きる力を原点から見つめ直したい。昔の古い農機具を使つての農作業をするのが夢だそうです。

青田に住居を移すことに家族の方の反応は?と聞いたところ「別段異論があったわけがなく、むしろ田舎にきてよかった。長男、次女にとってもよかったと思う。特に内向的だった長男は田舎に来て、少しは変貌したかな」と。

丹波電化石発掘では1年目から積極的に参加されており、発掘ボランティアに、化石クリーニング作業になくはならない存在です。自治会においても慣れない役割にも頑張っておられます。

(レポーター SM)

## とんどまつりと風揚げ 上久下小学校



上久下小学校1年、2年の児童は1月14日校庭でとんどまつりを行いました。地区の大人からとんどまつりの意味などについて説明を聞いた後、校庭に出て小さく積み上げたやぐらに火をつけて、お正月の飾りやかきぞめを投入し、それぞれお願い事をしました。行事の途中には、地域づくりセンターから持ち込まれた「丹波竜のちーたん」の凧5つを交代で揚げ、運動場せましと元気に駆け回っていました。

## 元気村かみくげ 増・新築工事はじまる

元気村かみくげの施設拡張工事が始まりました。丹波市の補助金を受けて現施設の並びに展示施設、多目的ルームを増設し、西側には化石発掘体験場を2月末の完成予定で工事が始まりました。現施設と合わせて元気村かみくげは地域の有志（出資者）によって企業組合として新年度から発足の予定です。完成披露のイベントは3月19日に関係者を集めて行われます。これら施設を充実し、交流人口の増加を図りながら地域の経済効果と活性化を目指します。



## ボランティアグループが 県くすのき賞を受賞



上久下地区ボランティアグループ（代表：西垣喜美枝さん、48名）は長年にわたりボランティア活動を通じてこころ豊かな地域社会づくりに尽力された功績が認められ、「兵庫県くすのき賞」を受賞されました。同じく、個人では村上久子さん（青田、山南町ボランティア連絡協議会会長）が「このとり賞」を受賞されました。おめでとーございませう。グループのみなさんのご健勝と今後のご活躍をお祈りします。

2月の予定  
◆2月12日（土）里づくり協議会  
例会 19時30分  
◆2月19日（土）川代公園桜の木  
テングス病対策作業

## 自治会だより

### とんどまつり（畑内）

1月10日、畑内自治会では毎年恒例のとんどまつりを篠山川堤で行いました。今年も皆で太い丸太を組み桧葉を差し込んでやぐらを組みあげました。点火式でこどもたちが火をつけるとたちまち正月飾りやかきぞめが一気に4メートルの炎となり天高く舞い上がりしました。

皆さんで大きな鏡餅や小餅を竹の先にはさんで炎にあぶり適当にやわらかくこんがりとなった小餅はフーッしながら口にする人、

あとで皆さんで「お神酒」や「お茶」をいただき、健康で楽しい一年になることをお祈りしました。（柳川瀬 功）



### 震災犠牲者追悼慰霊行事（太田）

太田・慧日寺では阪神・淡路大震災の犠牲者に犠牲者数と同数の線香を手向ける慰霊行事が雪の残る16日に行われ多くの参拝者が祈りをささげていました。

今回で7回目となるこの行事も今年を最後とし、来年からは一般のお参りのみとなります。